



報道関係各位



2017年7月13日
株式会社 ZMP

歩道の自動走行を目指す宅配ロボット 「CarriRo[®] Delivery」発表！

ー世界初、寿司の宅配実証実験をライドオン・エクスプレスと実施へー

株式会社 ZMP（東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒、以下 ZMP）はこの度、歩道走行を目指す宅配ロボット「CarriRo Delivery（キャリロデリバリー）」のプロトタイプを開発いたしました。

当社は、物流現場の人手不足問題解消に貢献することを目指し、2014年に物流支援ロボット「CarriRo（キャリロ）」の開発に着手、昨年より出荷を開始しております。今回開発した CarriRo Delivery は、宅配やフードデリバリー業界の配達員不足という課題解消に加え、買い物弱者と呼ばれる人々の日々の買い物を手助けすることを目指します。

CarriRo Delivery は、宅配ボックスを搭載し、レーザセンサとカメラで周囲環境を360度認識しながら最大時速6kmで自動走行します。また、遠隔監視を行うと共に必要に応じて遠隔操作を可能とします。

今年8月以降、随時、実証実験パートナー企業様と技術面、サービス面の検証を実施してまいります。第1弾として銀のさらを展開する株式会社ライドオン・エクスプレスと寿司デリバリーサービスに関する実証実験を開始することが決定いたしました。

尚、現在日本には、ロボットが歩道を自動走行することを想定した法制度が存在しないため、まずは私有地内での実証実験を実施しつつ、公道での実証実験の実現を目指してまいります。



CarriRo Delivery



オフィスで



前方を照らすライト

【仕様】

サイズ：1330（全長）x 750（幅）x 1090 mm（高さ）

重量：90kg

積載重量：100kg

速度：最大時速6km

稼働時間：8時間

登坂力：約8度



【本件に関するお問合せ】

新規事業企画部 西村

TEL: 03-5802-6901 FAX: 03-5802-6908 E-Mail: nishimura@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】 <http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区 代表取締役社長: 谷口 恒

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転技術開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システムの開発・販売、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®、③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。そのほか、ソニー(株)との合弁会社であるエアロセンス(株)や JVC ケンウッドとの合弁会社である(株)カートモ、ハーツユニテッドグループとの合弁会社である(株)ZEG を通して、ZMPはこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。